

7月7日（月）エッホエッホ

はし 走っているように見える^{みる}白い^{しろ}フクロウ
ウの^{あか}赤ちゃんの^{しゃしん}写真が、大^だ流行^{りゅうこう}しました。
た。オランダの^{しゃしんか}写真家が^{さつえい}撮影した^{しゃしん}写真
ですが、フクロウの^{あか}赤ちゃんの^{うご}動きを
まねして、「エッホエッホ」と
い^いながら、何^{なに}かを^{つた}伝える^{どうが}動画もブームになりました。



このフクロウ、一体何者なののでしょうか。この、「エッホエッホ」のフクロウは、^{しゅるい}メンフクロウという種類だそうです。
メンフクロウは、^ふ化^かしてから、40日くらいで^す巣^{あな}穴^{そと}の外に
出^でたり、また^{もど}戻^{もど}ったりをするようになります。そして60日
くらいで^す巣^だ立ちをして、その^す巣^{もど}には戻^{もど}らなくなるそうです。

メンフクロウは^ふ普^{だん}段からよく^{ある}歩^{ある}いていると思うかもしれま
せんが、フクロウは、^じ地^{めん}面を^{ある}歩^{ある}くことは^あま^りない^いそうです。
メンフクロウは^{あし}足が^{なが}長くて^{じょうぶ}丈夫ですが、^{あし}あの^{ある}足は^あま^りない^いための
ものではありません。^く草^{さち}地や^ぬ沼^{まち}地でも、^えね^{もの}ずみなどの^え獲^{もの}物を
^とと^れる^{よう}にするためのものなのです。

まだまだフクロウの^ふ不^し思^ぎ議はあるようです。ぜひ^{おう}扇^ぎっ子^こに
^{たん}探^{きゅう}究してもらいたいです。 村越 新